



# みどりの風

平成23年9月30日発行

校報479号

[みどりの風22号]

練馬区立関町北小学校

## 夢をあきらめない

校長 大野 泰弘

2004年9月26日。

アテネ・パラリンピックのマラソン表彰式が、メインスタジアムに場所を移して行われています。  
「ゴールドメダル、ユイチ・タカハシ」

会場にアナウンスが流れると、大きな拍手がわき上りました。金メダルが首にかけられ、オリーブの葉で編まれた月桂冠が頭にのせられました。

場内に「君が代」の国歌が厳かに流れました。高橋さんは、センターポールに高々と掲揚される日の丸の旗を頭に思い描きました。

(とうとう、やったんだ。今、日の丸が上がっているんだ・・・)

うれしさがこみ上げ、次から次へと涙があふれてきました。

(もう生きている意味がないと思ったこともあったけれど・・・生きていてよかった。夢をあきらめなくてよかった。大勢の人に支えられ、夢がやっとかなえられた。みんな、ありがとう)

「夢をあきらめない」という書物〔池田まき子 作 岩崎書店 P129～一部略〕の一節です。

この本に描かれている高橋さんとは、視覚障害者〔全盲〕のランナー、「高橋 勇市 さん」のことです。

この本によると、高橋さんは、目の病気のために、高校生の時から視力が低下し始め、34歳で完全に失明されたということです。高橋さんは、視力が低下していく中で、辛く苦しい日々を過ごしました。

しかし、31歳のとき、NAHAマラソンに初参加して、走る楽しさに出会ってからは、何度も挫折や苦しみから立ち上がり、マラソンを通して、自分の可能性や夢に挑戦し続けました。そして、遂に完全に失明してから5年後の2004年9月、39歳にして夢にまで見たアテネ・パラリンピックで優勝し、金メダルの栄光をつかんだのです。

私たちは、高橋さんが悩みや苦しみに立ち向かいながら、夢を追い求めていく姿、多くの人々の支えに感謝しながら、走ることを通してたくさんの人に希望や勇気を与えていく生き方などから、とても多くのことを学ぶことができます。

さて、本校では、毎年、保護者や地域の皆様に道徳教育に対するご理解を深めていただくために、道徳授業地区公開講座の中で道徳の時間を公開しておりますが、今年度はこれだけでなく、子どもたちが「夢をあきらめない」ことの大切さを学ぶとともに、人権課題の一つである障害者に対する正しい理解を深めるために、上記の高橋 勇市 さんをお招きし、特別講演会を企画することにいたしました。

皆様にはご多用のことと存じますが、10月19日〔水〕午前9時30分からの道徳の時間の公開、午前10時35分からの高橋 勇市 さんの特別講演会にお越しくださいますよう、ご案内申し上げます。

(なお、4～6年の公開授業は、10時35分から、2回目の講演会は11時30分となっております。)

## 10月の行事予定

3日(月)	全校朝会・委員会活動
4日(火)	安全指導日
5日(水)	体育朝会
6日(木)	歯科検診(1～3年)
10日(月)	体育の日
11日(火)	全校朝会・避難訓練
12日(水)	音楽朝会・6年合奏発表会
13日(木)	歯科検診(4～6年)
14日(金)	終業式

17日(月)	始業式・委員会活動
19日(水)	体育朝会 道徳授業地区公開講座
20日(木)	生活科見学(1年)
21日(金)	きょうだい学年遊び
24日(月)	全校朝会・クラブ活動
25日(火)	生活科見学(2年)
26日(水)	児童集会 教育会のため午前授業 6年1組研究授業5校時
28日(金)	理科見学(4年)
31日(月)	5時間授業

# 10月の生活目標 話をしつかり聞こう

「笑顔でつなぐ 信じる心」  
「みんなを思って 支えあおう」  
「下田の海と森を感じよう」

5年担任 黒澤 敬子

5年生110名は、9月20日から2泊3日で、下田移動教室に行ってきました。

台風の影響が心配されましたが、予定通りに行えた活動が多く、子どもたちも大満足だったようです。

題名に書かれた3つのめあては、事前準備の時間に班長が考えたものです。教師の提示した事柄をもとに一生懸命考えました。3日間、常にめあてを意識して行動できたと思います。

あじの開き体験では、一人一人が悪戦苦闘しながらも生のあじを包丁で見事にさばき、おいしいお土産を作ることができました。大室山では、頂上からの景色は残念ながら霧で見ることはできませんでしたが、あたり一面真っ白というは子どもたちにとっては幻想的な眺めだったようです。最終日の磯遊びは、短い時間でしたがヤドカリやカニを見つけて、下田の海を感じることができました。

キャンドルサービスやバスレクの係が、周到な準備をしてくれたお陰で、バスの中や夜もとても盛り上がりました。また、シャボテン公園や地球博物館では、班長を中心となって班行動ができ、笑顔いっぱいの3日間を過ごせました。

食事係や生活係、保健係は、3日間常に仕事がありましたが、責任をもって務め上げることができました。係の仕事で大変な時は、班の仲間が助ける場面もあり、思いやりの心も育った3日間でした。

3連休の後ということで全員が参加できるか心配でしたが、保護者の皆様のご協力のお陰で無事全員に素敵な思い出をつくってあげることができました。帰校が大幅に遅れましたことに改めてお詫び申し上げますとともに、お忙しい中でのお迎えに感謝いたします。ありがとうございました。

## 「トントンギコギコ図工の時間」

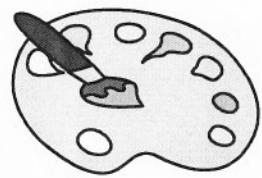
図工専科 藤江 恵子

ただ今、図工室からは、トントンギコギコと音が聞こえています。4年生は、剪定した枝や板材などを使って、「こんなところがあつたらいいな～」の「ツリー・ハウス」。5年生は、電動糸のこぎりを使って、「ジグソー・パズル」と「糸鋸ドライブ」。6年生は、板材を、釘や接着剤を使わず※ダボを使って動きのある「くねくねアニマル」を制作中です。

数年前に、『トントンギコギコ図工の時間』というドキュメンタリー映画が放映されました。スクリーンに映る子どもたちの夢中なまなざしは、そこに映し出された特別なものではありません。関町北小学校の図工室でもまさに同じ光景が見られます。考える時間、楽しい時間、達成する喜び、そんな時間をめざして、トントンギコギコと響きます。

4年生のツリー・ハウスでは、のこぎりに初めてトライ。汗をふきながら、枝や板を切る姿。金づちで、指を打って血豆になってしまふことも・・・。制作中の作品が図工室前に置いてあるので、他学年の子どもたちも見てくれます。出来上がりは勿論、途中にもその子の思いや葛藤などがいろいろ現れます。図工では、特にその過程を大切にしたいと考えています。思い通りにならない時、試行錯誤しながら、友達と助け合い乗り越えていく時、まさに、「生きる力」が育まれています。

10月には、学年ごとにミニ作品展を計画しています。ご来校のおりには、ぜひ、総合2・総合4の教室をのぞいてみてください。



※木と木をつなぐジョイントのこと。

## 委員会・クラブ活動

特活部 別府 昂

今年度、本校では、12の委員会、12のクラブで活動しています。

委員会は5、6年生が1学期、2学期に分かれてそれぞれ所属し、活動します。よりよい関町北小学校のために、自分たちにできる活動を考えます。毎月1回の委員会の時間では、問題点を話し合い、振り返りをもとに活動を工夫します。當時活動では、話し合ったことをもとに仕事を分担し、活動していきます。自分の仕事に責任をもち、最後までやり抜く力、学校や友達、下級生を大切にする力を育んでいます。

クラブは、4年生以上が参加します。年間を通して、自分たちで計画、相談しながら楽しく活動します。同じ興味や関心をもった友達、また異学年と交流することで、さらに活動を広げ深めていきます。6年生を中心にチームやグループをまとめていく姿からは、頼もしさが感じられます。

委員会、クラブ活動を通して、多くの児童が高学年としての自覚を高め、学級活動を越えて活躍しています。また、思いどおりにうまくいかないことも、諦めずに協力することで、学校や友達のために考えて行動しようとする意識へと繋がっていきます。それらが、子どもたちにとって社会に出た時に必要な力となるように願い、私たち教員は指導しています。